

# いいまち 議会だより

猛暑に間に合った  
学校エアコン

第86号 令和元年7月15日

発行：長野県飯島町議会

P3

議会だよりモニターのひとつ  
あれどうなった  
議会のハテナ?



P4

議会構成 変わる

P5

6月定例会  
広域農道の補修を評価



P6

総務産業分科会  
補正予算審査  
災害に備える水路整備を評価

P7

総務産業委員会  
新工場用地 視察



P8

社会文教分科会  
プレミアム付商品券 準備始まる

P9

社会文教委員会  
教育に予算を



P10

予算特別委員会  
学校エアコン 町の負担で



P11

本会議  
表決結果

P22

町民の声を議会へ  
「キッズファーム」



# 町政を問う

ここが聞きたい

## 10議員が質問

久保島 巖

公共施設

民間委託を進めるか …… P12



本多 昇

地元滞留率

3.5%の現状をどう考えるか… P13



橋場 みどり

マイナンバーカード

普及の取り組みは …… P14



滝本登喜子

ごみ出し支援

取り組み状況は …… P15



竹沢 秀幸

「音楽の町」いいじま

将来展望は …… P16



中村 明美

循環型社会

町民意識の向上を …… P17



折山 誠

安全対策

県道に歩道設置を …… P18



浜田 稔

区会・自治会

役割の簡素化を …… P19



三浦寿美子

働き方改革

非正規への影響は …… P20



好村 拓洋

総合計画

課題と今後は …… P21



「一般質問」とは  
行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

ほむら わせ  
表紙の写真／「保村早稲」の田植え(飯島城址付近にて)

# 議会だよりモニター のひとこと

## 広報紙面に対するご意見

- 写真やグラフを見ながら文章を読むこともあるため、構成(配置)に配慮が必要と感じたところがあった。
- 挿入写真のカラー化ができないか。(多数の意見がありました)

## その他のご意見・感想

- 休日議会をもっと多くして、町民の皆さんの町に対する意識の向上を。傍聴の呼びかけを。
- 文化館の特集が興味深かった。定期的な利用には使用料が少々高い。見直しはできないものか。
- 町民体育館のトイレの便座は、現状では高齢者には辛いと思う。改善できないか。
- 千人塚を訪れる人に気持ちよく利用して欲しいので、新しいトイレにサンタリーBOXを設置して欲しい。

追跡

# あれ どうなった

一般質問・審査での意見・請願陳情  
その後のゆくえ

## 平成24年6月議会 一般質問

- 問** 健康ポイント制度の導入を(計3回質問)
- 答** ハードルが高く、研究課題とする。

その後

令和元年6月から実施

## 議会のハテナ?

### 〈議決とは(パート1)〉



議決権「議会の存在目的の第一にあげられる権限」



#### 議決を要する事項

「条例の制定・改廃」「予算の議決」「決算の認定」  
「重要な契約の締結」「不動産の信託」など財産に関わる事案

町長が提案した案件

本会議・委員会の審査実施

本会議で「可否を表明」して多数決で決定

議 決

# 議会構成変わる 令和元年～2年度

臨時会が3月29日に開催され、議長・副議長の選挙、議会選出監査委員・各常任委員会などの変更がありました。4月より新しい構成で任期後半が始まりました。

## 議長あいさつ

堀内 克美

### 安全で安心な元気な町づくりを

リニア新幹線など町を取り巻く環境は、将来に大きな期待を抱きますが現実には人口減少が厳しい。議会と町が車の両輪として、未来に明るい安全で安心な町づくりを進めます。

## 議会三役



本多 昇 議会選出監査委員  
竹沢 秀幸 副議長 堀内 克美 議長

## 議会広報委員会



本多 昇 坂本 紀子 久保島 巖  
○好村 拓洋 ◎滝本 登喜子 三浦 寿美子

## 総務産業委員会



竹沢 秀幸 本多 昇 浜田 稔  
○好村 拓洋 ◎橋場 みどり 坂本 紀子

## 社会文教委員会



堀内 克美 中村 明美 久保島 巖  
○三浦 寿美子 ◎折山 誠 滝本 登喜子

## 議会運営委員会

◎浜田 稔 ○久保島 巖 滝本 登喜子 橋場 みどり 折山 誠

注：◎委員長 ○副委員長

# 交通量の多い、広域農道の積極的な補修を評価

令和元年6月定例会は、6日から18日までの13日間の会期で開催し、教育委員の任命の人事1件・条例の専決承認3件・条例1件・平成30年度専決補正予算6件・令和元年度補正予算3件の計14議案を審議しました。

令和元年度補正予算全3会計は予算特別委員会を設置・付託し、条例と陳情は各常任委員会に審査を付託しました。審議内容と審議結果はP6～11をご覧ください。

一般質問には10人が立ち、町政を質しました。

## 令和元年度一般会計補正(第3号)

1億4726万円を増額し、総額48億9218万円としました。

国の学校施設整備事業補助金が認められない事による減額と、プレミアム商品券事業・企業誘致などによる経費です。

### 補正財源

◇国庫支出金	1317万円
◇県支出金	902万円
◇財産収入	2840万円
◇繰入金	2520万円
◇諸収入	3479万円
◇町債	3620万円
◇分担金	46万円

### 主な使い道

◇プレミアム商品券事業	4027万円
◇道路維持費	4050万円
◇企業誘致費	3837万円
◇農地耕作改善事業	660万円
◇観光費	640万円
◇感染症予防事業	398万円

### 専決処分の承認

平成30年度事業の確定にともなう一般会計・5特別会計補正と町条例3件の専決を全員一致で承認しました。

◇一般会計  
1742万円を追加し、総額50億6918万円

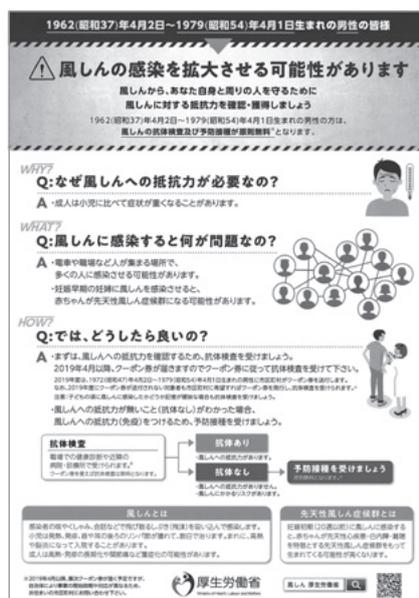
予備費を1億208万円増額

◇国民健康保険	3724万円減額
◇後期高齢者医療	877万円減額
◇介護保険	2148万円減額
◇公共下水道事業	812万円減額
◇農業集落排水事業	630万円減額

### 条例改正

◇災害弔慰金の支給などの条例関係法令の一部改正による整備

- ・弔慰金を支給する遺族の拡充
- ・災害援護資金の要件緩和



パンフレット(出典:厚労省)



広域農道岩間線道路工事

# 補正予算審査 道路整備に繋がる予算を評価

令和元年度飯島町一般会計補正予算（第3号）の分科会付託分を審査しました。

## 主 な 質 疑

**問** 農地耕作改善事業の内容は。

**答** 七久保（宮の上用水）が、大水が出ると溢れるため、新たに排水路を新設する。

**問** 水門などによる調整は可能か。また、大雨時だけ操作するのか。

**答** 調整は可能だ。詳細設計はこれからになる。

大雨時の操作を予定。

**問** 道路維持費で4000万円の地方債の考え方・判断基準は。

**答** 交通量が多く破損が多い。平成30年の調査で9割補修が必要と結果が出た。本年に入り起債調査が来たため取組む。

**問** 道路維持費の施工場所と時期はいつ頃か。

**答** 広域農道。平成30年は高尾370m。今回はその南北で南は本沢川まで。北は町谷堤くらいまでの全長1100m。なるべく早い時期にやりたい。

**問** 今後の計画は。

**答** 計画では、南は岩間交差点、北はふれあい橋までの3kmを3年で行う予定だ。

**問** 山岳観光費、2年前に烏帽子の登山道整備と登山MAPを松川と合同で行ったが、今回の負担金24万円の内容は。

**答** 松川町が元気づくり支援金3年目で、はしごを設置する。9合目は飯島地籍のため、当町へ負担金の話が出た。



新設予定の(宮の上用水)計画図



ドローン

**問** 中山間地農業ルネッサンス推進事業93万円の内容は。

**答** 「一般社団法人 七久保地区営農組合」からの要求により、ドローン購入を予定していたが、資格が必要なためドローンによる散布を委託とした。

**問** 散布する作物・面積は。近隣の農地への影響は。

**答** 作物は水稲・大豆で10haだ。近隣への影響が出ないように調整する。

**問** 町は減農業を進めているが、その考えとの整合性は。

**答** スマート農業への取り組みの一環だ。

農業を増やすわけではない。大豆は、大変な労力で散布している。

これから人が減る中で効率的な散布が期待できる。

**問** 企業誘致費の土地購入で、企業への売却額との差が1000万円あるが。

**答** 差額は、バイパスからの町道進入路のため、町で行う道路改良費だ。

**問** 町として近隣への開発行爲の考えは。

**答** 現在はない。

**問** 非常備消防費68万円の内容は。

**答** 平成29年に配布したものと同一無線機を、消防団部長以上に配布する。国の補助対象となったため、財源を組み替えた

# 砂防堰堤工事など現地視察

中田切砂防堰堤工事・矢の沢砂防堰堤工事・石曾根工場用地造成場所の視察を行いました。

## 中田切砂防堰堤工事

- ・発注者：国交省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所
- ・全体総工費：約10億円
- ・第2工期：2019年4月8日～2020年2月28日

## 矢の沢砂防堰堤工事

- ・発注者：県 伊那建設事務所

- ・全体総事業費：約7億5000万円
- ・第2工期：2019年3月12日～2020年1月6日



矢の沢砂防堰堤にて説明を聞く

## 石曾根工場用地造成

- ・総事業費：3837万円（土地取得費含む）
- ・道路工事：バイパスから約130m 拡幅
- ・取得面積：今年度 約4000㎡

## 陳 情 審 査

### 採 択

◇国に対し「消費税の複数税率導入中止を求める」

提出者：上伊那民主商工会 会長 鈴木 正巳氏

賛成3 反対2

◆内容 今回の増税では、複数税率制度やポイント還元制度などがあるが、軽減とは名ばかりの8%据え置き税率だ。決して負担が軽くなるわけではない。

過去の増税の結果から、10%への増税後の景気低迷は明らか。

複数税率導入は、多くの混乱と景気に深刻な打撃を与える。

中止することを求める。

### 討 論

**反対** 国の制度として福祉・教育の充実を目的に10%にするものだ。保育・子育ての誘引になる。経過措置で混乱はあると思うが、低所得者のための制度でありやむをえない。

**賛成** 複数税率導入は複雑で、理解されていないのが現状だ。事業者にも補助金は出ているがレジ更新費は負担だ。弱者救済が目的なら消費税の大幅見直しや、補助制度の充実が望まれる。

### 採 択

◇国に対し「消費税の適格請求書（インボイス）保存方式導入中止を求める」

提出者：上伊那民主商工会 会長 鈴木 正巳氏

賛成3 反対2

◆内容 制度では消費税の仕入れ税額控除の要件に、適格請求書発行事業者の登録番号記載の請求書などの保存が義務付けられる。これにより課税売上げ1000万円以下の零細事業者が取引から排除される恐れがある。

全国に500万とされる個人・零細企業には大きな事務負担であり、地域経済に深刻な影響を与えることになるため、中止することを求める。

### 討 論

**反対** 消費税を納める消費者としてはインボイスを導入し、消費税課税の矛盾をなくすべきだ。

消費者としては納付してもらいたい。

**賛成** 課税の平等性を形式的でなく実体に合わせるべきだ。個人・零細事業者に、大企業と同等の膨大な事務負担を負わせるのは大きな問題だ。インボイスはやめ、従来通りを維持すべきだ。

# 低所得者・子育て世帯へ プレミアム付商品券

令和元年度飯島町一般会計補正予算（第3号）分科会付託分と国民健康保険特別会計補正予算（第1号）・介護保険特別会計補正予算（第1号）を審査しました。

## 主 な 質 疑

### 一 般 会 計

**問** プレミアム付商品券4027万円の内容は、低所得者支援と子育て支援の2種類あるが、交付数や商品券に差があるのか。

**答** 差はない。

**問** 購入を一度にできない人がいるのではないかと。配慮はされるのか。

**答** 申請期間は12月末まで。券の購入・使用期限は2月末までと長く設定した。必要に応じ、引換券は5回に分けて購入できるようにした。

**問** 購入者はいつどこで支払うのか。

**答** 申請者には、2.5万円分の購入引換券が9月下旬に届くので、町の窓口で購入してもらう。

**問** 世帯に交付されるのか。

**答** 非課税者一人ひとりに交付される。子育て世帯には、対象の子どもの人数分交付される。

**問** 事業費のうち、町の負担はいくらか。

**答** 町負担は約2万円のみ。交付対象者負担を除くプレミアム分と事務費などは、全額国庫負担である。

**問** 介護保険事業拠出金394万円の、低所得者保険料軽減分に関する対象者数は。

**答** 納付対象者数3300人のうち、820人が対象である。

**問** 学校給食運営費264万円の減額と、給食センター費142万円の増額理由は。

**答** 平成30年度まで嘱託職員4人・臨時職員4人体制での予算編成であった。その後、嘱託職員1人が退職され、嘱託3人・臨時5

人となり、予算の増減が生じたため。

**問** 勤務条件が大きく変わらないなら、全員嘱託にすべきでは。

**答** 臨時職員には申し訳ないと感じている。会計年度任用職員制度の導入にあわせ、処遇改善を要請したい。

### 国民健康保険特別会計

**問** 保健衛生普及事業の人件費204万円の減額だが、職員の確保はないということか。

**答** 嘱託職員の急な退職で募集をしたが、確保ができなかった。

勤務時間を短縮し募集したところ応募があり、臨時職員対応とした。

今後は、正規職員の配置を求めていく。

### 介護保険特別会計

質疑なし



プレミアム商品券資料（出典：内閣府）

# 教育に国のしっかりとした予算を

付託された条例1件と、請願2件を審査しました。

## 条例審査

◇災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

賛成5 反対0

問 本条例に関わる予算は計上されているか。

答 していない。災害救助法が適用された場合などに計上し、有事には速やかに対応する。

問 適用時の財源は。

答 国2/4・県1/4・町1/4となる。

| 討 | 論 |

なし

## 請願審査

◇国の責任で35人学級推進を  
提出者：飯島町学校教職員組合  
執行委員長 中嶋 誠司 氏  
紹介議員：折山 誠

賛成5 反対0

◆内容 国に35人学級推進と、教育予算の増額を求める

問 複式学級の定員と課題は。

答 定員は8人。1人で多学年を受け持つため、進度に弊害がある。学年に1人の先生は必要。

問 8人学級でも、35人学級でも教師1人だ。不平等では。

答 現場では、多くても少なくとも教師の対応は変わらない。平等・不平等の考えはない。

問 複式学級解消のため、学級定員を引き下げとある。生徒1人でも1級1担任を求めるのか。

答 それが基本と考える。

問 小学校に配置されるべき専科の教員配置ができていないか。

答 飯島小学校の理科専科は今年度加配されていない。

両小学校の英語も加配がない。

問 少子化による統合の考えは。

答 通学時間の増加や、スクールバスの対応による自治体の負担増など、課題は多いと考える。

問 いじめや不登校の状況は。

答 1クラスが30人を下回る状況で、担任の目も行き届く環境にある。ないとは言えないが早い段階で対応できている。

| 討 | 論 |

賛成 県は、独自に35人学級や複式学級の解消に努めている。

全国同じ教育を実現するため、国の基準を引き下げるべきだ。

◇義務教育費国庫負担制度の堅持  
提出者：飯島町学校教職員組合  
執行委員長 中嶋 誠司 氏  
紹介議員：折山 誠

賛成5 反対0

◆内容 国が必要な経費を負担し、教育の機会均等とその水準の維持向上を図ること。

問 国庫負担が1/3に引き下げられ、交付税措置となった。

実感する事はあるか。

答 学校では少ない。県や市町村の財政負担が増加していると認識している。

| 討 | 論 |

賛成 教育は全国平等であるべき。自治体の財政状況に左右されるべきではない。そのためにも国庫負担率を1/2に戻すべき。



小学校の授業風景

# 学校のエアコン 計画通りに実施

特別委員会は、総務産業・社会文教の2つの分科会を設けて各所管事務の審査を求め、分科会主査報告に対する質疑のあと、理事者への総括質疑・討論を行いました。その結果、付託された補正予算3議案を全て可決すべきものと決定しました。

## 主査報告に対する質疑

**問** プレミアム商品券は、一括購入だと低所得者には負担になるのでは。

**主査** 引換券の使用期限を2月末と長くし、購入は5回に分割が可能である。

**問** ドローンを借りて農薬散布を行うが、町の減農薬推進政策に沿うのか。周辺農地への影響は。

**主査** 農薬は増やさず、スマート農業の取り組みの一環で、効果的散布を目指す。近隣への影響は調整する。

**問** 給食センターの人件費減額の内容は。

**主査** 当初嘱託4人・臨時4人体制であったが、退職により嘱託3人・臨時5人となったため。

## 理事者に対する質疑

**問** 元気づくり支援金での事業が増えているが、人員体制は。

**答** 現在13プロジェクトがあるが、横の連携で一つの課への集中を避ける。

**問** 学校エアコン補正の内容は。

**答** 国の学校施設環境改善事業を見込んでいたが、不採択となったため、1000万円を基金取り崩しで対応する。

**問** 学校エアコンの残りはどこか。

**答** 第2音楽室・工作室など、利用頻度の少ないところ。

**問** 「音楽村」構想とは。

**答** 場所を決めて「音楽村」を構築する考えはない。楽器製造企業が移転を検討した時に誘致し、結果として「音楽村」になればよい。

**問** 事務事業の見直しで、今後職員を減らす考えはあるか。

**答** 今の正規・非正規含めた290人体制は維持できない。仕事の簡素化を進め人員を縮小する。

## 討論

**賛成** 補助金が無くても学校へのエアコン設置を計画通り実地したことを評価する。

特別会計の討論はありませんでした。



職員室のエアコン設置

# 6月定例会 本会議表決結果

※議案の採決は、堀内議長を除く11人で行います。

議案名	議決日	注記	賛成	反対	審議結果
教育委員の任命	即決	任期満了に伴い、1名の再任	11	0	原案同意
税条例の一部改正(専決)	即決	地方税法の改正	11	0	原案承認
国民健康保険税条例の一部改正(専決)	即決	政令の改正	11	0	原案承認
介護保険条例の一部改正(専決)	即決	政令の改正	11	0	原案承認
災害弔慰金条例の一部改正	最終日	社会文教委員会審査(P9)	11	0	原案可決

## 平成30年度補正予算

一般会計(第6号)(専決)	即決	事業確定により	11	0	原案承認
国民健康保険特別会計(第5号)(専決)	即決	事業確定により	11	0	原案承認
後期高齢者医療特別会計(第4号)(専決)	即決	事業確定により	11	0	原案承認
介護保険特別会計(第5号)(専決)	即決	事業確定により	11	0	原案承認
公共下水道特別会計(第5号)(専決)	即決	事業確定により	11	0	原案承認
農業集落排水特別会計(第5号)(専決)	即決	事業確定により	11	0	原案承認

## 令和元年度補正予算

一般会計(第3号)	最終日	予算特別委員会審査(P10)	11	0	原案可決
国民健康保険特別会計(第1号)	最終日	予算特別委員会審査(P10)	11	0	原案可決
介護保険特別会計(第1号)	最終日	予算特別委員会審査(P10)	11	0	原案可決

## 請願・陳情審査決議

消費税の複数税率導入中止を求める陳情	最終日	総務産業委員会審査(P7)	4	7	不採択
消費税の適格請求書保存方式導入中止を求める陳情	最終日	総務産業委員会審査(P7)	4	7	不採択
国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める請願	最終日	社会文教委員会審査(P9)	11	0	採択
義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願	最終日	社会文教委員会審査(P9)	11	0	採択

※注 郵送による陳情は基本的に議案にならず文書配布されます

## 意見書の提出決議

新たな過疎対策法の制定	最終日	橋場みどり 提出	11	0	原案可決
消費税の複数税率導入中止を求める	最終日	坂本 紀子 提出	4	7	原案否決
消費税の適格請求書保存方式導入中止を求める	最終日	好村 拓洋 提出	4	7	原案否決
国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める	最終日	折山 誠 提出	11	0	原案可決
義務教育費国庫負担制度の堅持を求める	最終日	三浦寿美子 提出	11	0	原案可決

## 賛否が分かれた議案の表決結果

○は賛成 ●は反対

議案名	滝本登喜子	三浦寿美子	久保島巖	中村明美	橋場みどり	好村拓洋	折山誠	坂本紀子	浜田稔	本多昇	竹沢秀幸	審議結果
※議案の採決は、議長を除く11人で行います。												
消費税の複数税率導入中止を求める陳情	●	○	●	●	●	○	●	○	○	●	●	不採択
消費税の適格請求書保存方式導入中止を求める陳情	●	○	●	●	●	○	●	○	○	●	●	不採択
消費税の複数税率導入中止を求める意見書	●	○	●	●	●	○	●	○	○	●	●	否決
消費税の適格請求書保存方式導入中止を求める意見書	●	○	●	●	●	○	●	○	○	●	●	否決



久保島 巖

## 公共施設

### 民間委託を進めるか

### 運営方法の一つ 町長

**問** 平成31年度末で「まちづくりセンターいいじま」が休止となった。その結果、5月から千人塚公園が民間委託となり、与田切公園や文化館も来年度からの委託が検討されている。

今後民間委託を進めるのか。

**町長** 推進していくというより、運営方法の一つである。住民からより質の高いサービスの提供を求められており、集客の創意工夫や競争力がサービス充実に繋がるよう期待している。

**問** 公共施設にも、意義や目的の違うものがある。施設ごとの

考え方の違いはあるか。

**町長** 目的達成のため各施設が建てられており、考え方や進め方に違いはある。大事なのは住民が使いやすく、集うことだ。

各施設は、個々で違った運営がされるべきだ。

**問** 民間委託の1つの「道の駅田切の里」が、今年度から食堂部分が経営分離された。この原因究明と責任はどうか。

**産業振興課長** 食堂部門が赤字となっており、直売などの他の部門で経営を成り立たせていた。

人件費の見直しなど、経営改善を図ってきたが長期的展望から切り離しを決断した。町としても管理者と食堂経営者の連携を強めていきたい。

**問** 指定管理契約の途中解約や施設利用契約を変更したという事か。

**産業振興課長** 議案となる指定管理という形ではなく、行政財産の使用許可で対応した。「道の駅 花の里いいじま」も同様だ。

「田切の里」とは年度協定を協議して変更している。変更部分の見直しもされた。

**問** 今後民間委託を進めるにあたり、内容変更や当初契約の不履行などがあった場合の、違約金や賠償の規定はあるか。

**企画政策課長** 管理に関する基本協定を締結している。物件や第三者に対する損傷・損害などの賠償や費用負担、業務不履行の場合、指定管理取り消しなどが明記されている。

**問** 「田切の里」はこの内容には合致しないという事でよいか。

**産業振興課長** 今回の件はこれには当たらない。

**問** 今回、分離に伴う費用は町が出しているが、「田切の里」の費用負担はないのか。

**産業振興課長** 分離するにあたり、町が電気と水道の子メーター工事費を負担している。この負担金は施設利用料に上乘せし、実質「田切の里」負担とした。

よしかわ

## 吉川市と交流を

**問** 大相撲の土俵儀は、米俵保存会が納品するまで埼玉県吉川市の職人が作っていた。またワラ細工に最適と言われる「保村早稲」を作っている方が「飯島さん」だった。このモミを頂き飯島城址で栽培することになった。

「事実は小説より奇なり」だと思うが町の認識は。

**町長** トントン拍子の時は足場を固める時だ。相撲協会への責任も重く、ワラや職人の確保の心配も絶えない。地域産業として根付くよう支援をしたい。

**問** 吉川市と姉妹都市を見据えた交流を始めたかどうか。

**町長** ご縁があり、大切にしていきたいが、今は交流の糸口が見つかった段階だ。

今後ご縁の醸成、お付き合いの深度を深めていく事をお祈りしたい。

(以上2件質問)



吉川市にお邪魔しました



本多 昇

地元滞留率

# 3.5%の現状をどう考えるか

## 残念であり喫緊の課題だ 町長

**問** 地元滞留率とは、消費者が居住市町村で買物をする割合。

県町村部の約9割超が30%未満となっている。

当町は、平成24年5.0%・27年4.5%・30年3.5%で、毎回減少し郡下で一番低い。

この現状をどう考えるか。

**町長** 3.5%しか町で買い物がされていないことは非常に残念だ。地元で買い物ができることは町の魅力の一つとして考える。

**問** 今後の少子高齢化を考えると、地元で買い物ができる店舗が絶対に必要だ。

道の駅を含む既存店舗の拡充と、商業施設の誘致しか手段がないと考えるが。

**町長** 地元で買い物ができるまちづくりを進めなくてはならない。また、既存の店舗の活性化、新たな施設の誘致も併せて考えていく。

### 商工業振興事業補助金

**問** 町内で工場などの新設・企業立地の促進や、町内企業の振興を目的として、商工業振興補助金制度がある。

この補助金は町の投資だ。雇用を生み出し、将来は住民税・固定資産税などの自主財源となる。

道の駅を含む既存店舗の拡充と商業施設の誘致のため、商業

用地取得等補助金の創設を提案するが。

**町長** 少子高齢化が進む中、地元で買い物ができるお店がないことは大きな問題、喫緊の課題と捉えている。提案内容は企業の背中を押すことになるので、検討する。

### 柏木運動場周辺構想

**問** 30年9月、飯島FC・飯島町総合型スポーツクラブが提出した「柏木グラウンド・B&G体育館周辺構想の提案書No.5」は構想図面もあり、具体的に提案されている。

提案書が教育委員会で止まっているのではないかと、提案書を共有し関係部署に意見を求めたか。

**教育長** 総務課の危機管理係、建設水道課の建設係と協議した。

**問** 周辺整備構想は5年が経過し、具体的な提案も出てきた。

大筋の方向性を出し、できる所から着手すべきではないか。

道路の整備と、グラウンドの拡張は急務と考えるが。

**町長** 飯島FCの熱意あふれる細微にわたった提案だ。

良い提案だからということでプライオリティ（優先順位）が一番に躍り出ることではない。

（以上3件質問）

山火事想定 ヘリで放水



柏木運動場 合同消火訓練（写真提供 長野日报社）



橋場 みどり

## マイナンバーカード

### 普及の取り組みは

### 更に周知する 町長

**問** カードは2016年1月から申請により無料交付されている。身分証明書・行政サービス・電子申請などに利用できる。しかし、交付率は8.2%と低い。

サービス向上・行政手続きの簡素化・効率化になる。普及の取り組みは。

**町長** いろいろ駆使しながら広報活動などを行っている。

全国的に広がる風潮ではないことを懸念している。

**住民税務課長** 住民係が窓口。住基カードも10年経つと期限切れになる。切り替えを促す案内・広報・CEKで周知している。

**問** 住民がカードを持つメリットは。また、行政のメリットは。

**総務課長** 顔写真付きなので、本人証明などが必要な時もこれ1枚で済む。

社会保障・税の手続きの際、カード提示で添付書類の省略ができる。

今後は健康保険証としての利用も検討されている。コンビニ交付で、手数料が安くなり負担軽減になる。

行政は、窓口負担軽減になる。

**問** キャッシュレス化に対応する考えは。

**総務課長** 現在導入している自治体はごく一部だ。普及率が低いという中では、なかなか進まないのが現状だ。

**町長** 広域連合の中でAI・IT・IoT\*を使い、事務の簡素化に繋がる。キャッシュレス化は、上伊那全体で考えればスケールメリットがあると提案した。

\*IoT=インターネットを通じた物の操作など

## SDGsの推進を

**問** 町の認識は。

**町長** 持続可能な社会を作るため、世界共通の普遍的な目標だ。

経済・社会・環境の向上を目指し、国・自治体・企業などが行動することを求められている。

**問** SDGsの言葉を知っていても、どう取り組めばいいのか、分からないのが問題だ。

住民・職員への周知方法は。

**町長** 第6次総合計画の中で、言葉の勉強を含め、学ぶ機会を何回も作っていく。

**問** 学校教育での取り組みは。

**教育長** 日本では、SDGs以前の「持続可能な開発のための教育の仕組み」が各校で進められてきた。教育がすべてのSDGsの基礎になるという発想だ。

国境を越えて協力や協調は不可欠だ。知識を一方的に教える教育では、必要な資質・能力が備わらない。主体的・協働的に学び、行動できるよう授業改善が行われている。

(以上2件質問)

**マイナンバーカードの3つの利用箇所について**

**マイナンバーカードの表面**

マイナンバーカードの裏面

**マイナンバーカードのICチップ内の構成**

ICチップ内のAP構成

(1) カード券面  
社会保障、税又は災害対策分野の事務における個人番号の証明(個人番号と本人確認の両方が1枚で済む)、公的(身分)証明書として活用

(2) ICチップの空き領域  
市町村・都道府県等は条件で定めるところ、国の機関・民間事業者等は総務大臣の定めるところにより利用可能。  
・印鑑登録証  
・証明書交付機  
・公共施設予約  
・コンビニ交付  
・図書館利用  
・地域の買い物ポイント等

(3) 電子証明書  
(署名用電子証明書・利用者証明用電子証明書)  
行政機関等(e-TAX、マイナンバー、コンビニ交付)の他、新たに総務大臣が認める民間事業者も活用可能に。  
イメージ:金融機関におけるインターネットバンキング、インターネットショッピング等

たかい利便性(総務省HPより)

ごみ出し  
支援

取り組み状況は

「飯島版支援策」を研究 町長



滝本 登喜子

**問** 環境省発表の「高齢者ごみ出し支援」を町はどう考えるか。

**住民税務課長** 国は調査し、来年には状況を把握して自治体にガイドラインを出す予定だ。

町は実態に沿った「飯島版高齢者ごみ出し支援策」を、社協や関係部署と連携し研究する。

**問** 環境衛生自治会の役員も日中在宅の人は少なく、在宅高齢者支援を在宅高齢者が担うことになる。資源ステーションへの運搬や家庭ごみも含め、町での支援の状況は。

**住民税務課長** 支援者やヘルパーなどがサポートしている。

**問** 再生された資源ごみの展示を。

**住民税務課長** 再生品の手持ちはないが、今後入手したい。場所は、関係する所管課とも検討して展示を考えたい。

**問** ごみ減量の庁舎内での取り組み状況は。

**総務課長** 多くの職員がマイボトル・マイカップを持参している。職員食堂には共同で使える茶わん・箸など用意している。

生活支援  
コーディネーター

**問** 役割と体制は。

**町長** 高齢化が進む中、地域全体の支え合い体制で、集いの場づくり・グループ育成支援を行うことを推進している。

**健康福祉課長** 町では2人増員して3人体制。事業所委託は4人・社協は2人・生協の「やまなみ」1人・「なごみの家」1人。

**問** 活動状況は。

**健康福祉課長** 町設置での状況は、研修や個人と事業所のつながりによる情報収集・統計的な

地域特性の分析・地域の活動を「広報いいじま」に掲載など。

社協は、1軒1軒への訪問やアンケートなどを実施している。

**問** 統計・調査で見えてきたものは。

**健康福祉課長** 自治会によって高齢化率・介護認定度が違う。介護認定の申請率も違う。また、「いちいの会」や自主的な取り組みがあるところや無いところなどがわかった。

**問** 地域へのコーディネーターの課題と今後は。

**健康福祉課長** コーディネーターは、地域の中に溶け込んでつながりを作れるかが課題。

自主的な集まりの多いところ・少ないところなど、地域特性と状況を捉えて、さらなる発見や開拓、新たな活動を起こすサポートをする。

食や安全・自ら行う通いの場や、自分の健康を守る意識を持てるような取り組みをしていく。

**問** 自治会の「地域福祉推進員」も含め、コーディネーターなどとの協力体制を作れないか。

**副町長** 今は、会費納入や社協報の配布・イベント出席などをお願いしている。

関われるところは関わってもらえるよう協議したい。

（以上2件質問）



袋いっぱいの資源ごみの運搬



竹沢 秀幸

## 「音楽の町」 いいじま

積み重ねにより実現したい  
町長  
将来展望は

**問** 今定例会補正予算に、楽器メーカーの用地取得費があるが、他の楽器メーカーの誘致など、展望は。

**町長** 町内にあるフルート製造会社の新社屋計画の進展のほか、関心を寄せているファゴット楽器メーカーの誘致の話がある。

文化・産業、世界との繋がりにおいて、末長い産業として根づいてほしい。

地道な積み重ねの結果「音楽村」という流れにしたい。



傘山からの眺望



傘山の山頂

### 千人塚・傘山 観光振興を

**問** 前年度予算で購入した、マウンテンバイクとサップの配備状況は。

**地域創造課長** マウンテンバイク合計17台、サップは9艇を配備。各種団体が企画する体験イベントでの利用を中心に活用する。

**問** 町民の森と傘山を活かす取り組みは、今後どう進めていくのか。



町内のフルート製造会社



新社屋建設予定地

**町長** 町民有志で傘山、町民の森の保護・保全・整備をしたことに感謝する。

与田切・千人塚と合わせ、一体的な観光資源として引き続き整備し、地域の経済が活性化する取り組みにつなげたい。

### ひなどり奨学基金 後方支援を

**問** ふるさといいじま応援寄附金からの支援ができないか。

**地域創造課長** 寄附金の目的に子ども支援があり、その中で「ひなどり奨学基金応援プロジェクト」を設定することは、可能かを含め検討したい。

**問** 当基金ホームページ作成は、協働のまちづくり補助金の対象か。

**地域創造課長** 交付対象事業であると考えます。

他に、マニュアル公用車の緊急時に備えた運転技術習得について質しました。

〔以上4件質問〕

循環型社会

町民意識の向上を

実践を伴う活動で 町長



中村 明美

**問** 4月からゴミの収集方式が改定され、ゴミ減量・リサイクル化への住民意識はどうか。

**住民税務課長** 改定後10.5トン増。不燃プラごみが可燃ごみに出せるようになり、リサイクルプラも可燃に多く流れた結果と大変危惧している。

分別の必要性を出前講座や自治会・学校へ啓発をしていく。

**問** 環境省が公表した2017年のリサイクル率は20.2%で、10年間横ばい状態。資源化に努力が必要。

町内循環型のリサイクル品ステーションを設けるなど、3R(①出さない②繰り返し使う③リサイクル)で取り組みをすべきでは。

**住民税務課長** 循環型は、現代社会で求められている。町は資源回収を行っているが、独自でリサイクルショップ的なことは課題が多い。イベントなどでのリサイクルブース設置を勧め、広報でも周知していきたい。

**問** 県はごみの減量化に向け「e-プロジェクト協力店」を募集している。

当町の加盟店は2店舗だが、実態をどう受け止めているか。

**町長** プロジェクト参加のメリットは、県ホームページに掲載され、事業所のPRもできるので周知して行きたい。

**問** 生ごみ処理機は、購入金額の8/10・限度額4万円と補助率が高い。

意識を高めるよう自治会に向き、補助制度の説明・処理機の実演をし、資源の大切さを周知すべきだが。

**住民税務課長** イベントでの展示や、要望により出前講座を行っている。

**問** 循環型社会は、国を挙げての大きな取り組み。要望を待っているのは、町民意識は高まらないのでは。

**町長** 説明だけでは伝わりにくい。実践を心がけていくことが大事なのかなと思っている。

**問** 堆肥化したものを町が買い取り、学校・庁舎の花壇などで活用してはどうか。

**住民税務課長** 今後研究・検討していく。

**問** 「食品ロス削減推進計画」の策定は努力義務だが、地域環境を守る責任を認識し策定を。

そのためには、担当職員を増やすことも必要だが。

**副町長** 現在詳細は示されていない。

増員は総体的に検討する。

**問** 飯島の子どもたちから循環型社会をリードできるよう、見学・体験・実践を成長段階に応じて教育しては。

**教育長** 循環型社会の教育は、総合学習などで進めている郷土理解・郷土愛から自分たちの地域・国・地球というように、年齢とともに子どもたちの発想が広がるようにしたい。

他に消費税10%に伴う低所得者への影響について質しました。

〔以上2件質問〕



資源はリサイクルへ



折山 誠

## 安全対策

 県道に歩道設置を  
 県に緊急的措置を求める  
 町長

**問** 県道北林飯島線の歩道設置を2年前に質問し、県へ要望するという答弁があった。進捗状況は。

**建設水道課長** 道路管理者の県からは、現地調査の結果「事業が必要な箇所」という回答を得た。交通量の多い幹線道路の安全対策として、早期の歩道設置を求めて行く。

**問** 歩道設置までの間、暫定措置としてグリーンベルトを求めるが。

**建設水道課長** 今の通勤・通学時間帯の状況からみて必要であ

り、県へグリーンベルトなど、緊急的措置を要望する。



駅前で途切れるグリーンベルト

**問** 歩道を走行する「電動車いす」は、高齢化と共に需要が増えることが予想される。

県道沿線の店舗出入り口などは、歩道の傾斜が強く危険だ。通行を想定した幹線道路の危険箇所調査を実施し、利用者への注意喚起を促すべきでは。

**建設水道課長** 利用者からの相談に応じ、危険箇所の調査・改善・注意喚起に努める。

**問** 高齢者の重大交通事故増加に伴い、運転免許証返納者が増加している。循環バスの充実を求めるが。

**町長** 重大事故防止には、車の改良が必要と考えるが、それを待っているわけにはいかない。

身近な公共交通として利用されることを前提に、検討する。

## 子育て支援充実を

**問** 乳児おむつ補助制度創設を。

**町長** 町は、これまで必要と考える支援を行っている。今後も財政状況に応じて、必要な措置を講じる。

**問** 子育て世代の上下水道料金負担軽減を。

**町長** 私も苦慮している。水道料金は、利用者が多ければ多いほど料金が安くなる。中川村の事業参加意向が表明されており、統合された段階で、子育て世代の軽減を検討したい。

下水道料金は、世帯人数が増えた時点で料金が上がる制度だ。

経営を考えながら従量制移行の検討を行う。

**問** 子育て世代の住宅取得に、町と住宅金融支援機構が連携し、借入金利を引き下げる制度の創設を求めるが。

**地域創造課長** 町の住宅支援は、年齢や世帯構成に関係なくすべて対象としてきた。子育て世帯にも支援が必要と考える。町内の金融機関への影響を考慮した上で、研究をしていきたい。

## 旧紅葉園の積極活用を

**問** 高額で取得した施設が活かされていないことに、町民の不満は大きい。

有効活用のため、早急にトイレ・水回りの修繕をすべきでは。

**町長** 状況を見ながら決断したい。

〔以上3件質問〕

区会・自治会

役割の簡素化を

思い切った見直しを進める 町長



浜田 稔

問 区会・自治会の負担軽減に、町が本腰で取り組み始めたことを評価する。いくつかの課題への考え方を質したい。

形ばかりの意見聴取を行う審議会が多いのではないかと。

町長 過去を引きずり、形骸化した組織が多くある。真に必要なものを洗い出す時期だ。

問 各種期成同盟会も見直し可能ではないか。

町長 いずれも理由があって生まれたものだが、集約できるものもある。一方、伊南バイパスから南へ延びるルート同盟会を、新たに立ち上げる。

問 宛て職の多さは、特に各種団体の長に重い負担と聞か、1人一つだけとした自治体もある。

当町でも実行してはどうか。

町長 それぞれ必要があつての役であり、多岐に亘る組織改革の中で考えたい。

問 町は防犯指導員の廃止を提案しているが、自治会長が兼務するとのことで失望した。

理由は何か。

総務課長 町の会議はやめるが、各地区の代表と伊南防犯連合会への役員を選出する必要があるため。

問 「上部団体」が自治会に役割を割り当てる発想は時代後れだ。

お付き合い程度の役は廃止を。

町長 まず地域住民が声を上げ、行政と合意を作り上げることで改革が進むと思う。

問 自治会は、暮らしと地域の環境のために共同で汗を流し「自ら治める」任意団体だ。

各種組織との連携はあるとしても、何かの下部組織ではない

はずだ。

町長の認識は。

町長 自治会は最も身近なところ。下部組織という意味でなく、町は窓口を広く開け、相談対応したい。行政施策が円滑に届くことが目標だと思う。

問 改革の全般的な考え方は。

町長 思い切った見直しが必要と考え、町の全機関を対象に内部検討している。

各種委員会や自治会への委託業務は、構成員の削減・会議回数の縮減・廃止や統合も含め、様々な観点から検討し、数年かけて進める。

産業展示会への出店 支援拡大を

問 町内工業にとって産業展への参加は大きな価値がある。ブース装飾などへ更なる支援を。

産業振興課長 70万円だった支援枠を、昨年200万円に引き上げ、出展数も増えた。

自社のPRだけでなく、業界動向の視察報告も求めたい。支援のルール拡大も検討する。

〔以上2件質問〕

Table showing a calendar of events from April to March, with a magnifying glass highlighting specific items like '地域づくり委員会' and '浄化槽維持管理補助金'.

ある自治会長の一年

年間91日は自治会の仕事あり

灰色行は平日 濃い灰色行は平日昼間



三浦 寿美子

## 働き方改革

## 非正規への影響は

## 把握できていない 町長

**問** 働き方改革法による非正規職員への影響はどうか。勤務体系など変化はないか。

**総務課長** 非正規職員は、嘱託・臨時職員の2方式をとっている。嘱託職員は、フルタイムの専門職。臨時職員は、時間単位で働いている人がいる。

勤務時間など、本人の意向を確認し任用している。

町は、近隣町村の状況・最低賃金の推移などを見ながら改定を進めてきた。

働き方改革法の影響は把握できていない。

**問** 来年度4月からの会計年度任用職員制度で、問題になることはあるか。

**町長** 国のガイドラインに沿い、来年4月からの任用・勤務条件などに関わる例規の整備・調整を行っている。

給料面は職務内容・責任・知識・技術などを考慮することを基本に考えている。

身分的に臨時職員は、通年の任用になる。条件によって違いがあるが、職員には説明しながら進める。

**問** 官製ワーキングプアの認識は。庁内に対象者はいるか。

**総務課長** 非正規で官公庁・関係機関で働き、年200万円程度の給料で、正規職員と比べ不利な状況にある人たちと認識する。

町には、200万円以下の給料を支払っているフルタイムの非常勤職員はいる。

危険なオスプレイ  
伊那谷飛行

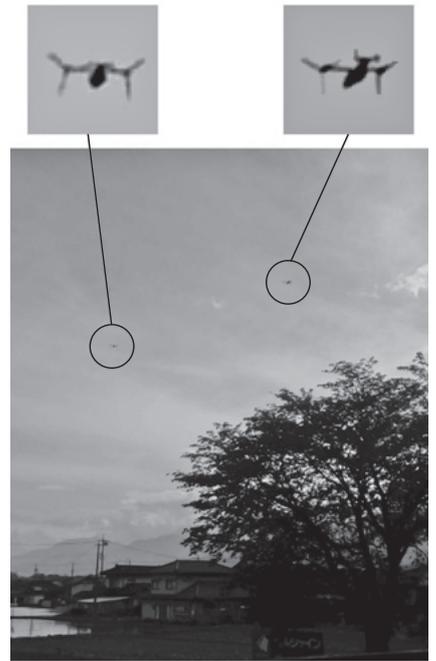
**問** 5月15日午後4時頃、町でオスプレイを目撃した人がいる。同日、伊那市美すずでの目撃写真もある。

防衛省北関東防衛局によると、米軍横田基地から岩国基地へ、オスプレイ2機が飛行予定と報告があり、関係自治体に報告したという。

実態を把握しているか。

**町長** 現在のところ情報はない。目撃情報があったことは初めて聞いた。

**総務課長** 県危機管理防災課から15日の19時過ぎに事後報告があった。飛行ルート情報はなかった。



伊那市美すずで撮影

**問** 町の地形は西おろしの風が強い。オスプレイの構造から、不時着の事態もありうる。上伊那全市町村で目撃情報を共有すべき。

可能であれば写真に撮るなどし、役場に情報を寄せてもらう必要がある。通報部署の住民周知を求めるが。

**総務課長** 県危機管理課に、事前に共有するよう申し入れる。

通報先は広報などで周知する。

自衛隊勧誘  
名簿閲覧のみか

**問** 自衛隊員の勧誘目的で、対象者名簿を渡していた自治体があるとの報道があった。

当町は閲覧のみと認識しているが、間違いはないか。

**町長** 自衛隊長野地方本部から、上伊那地域振興局を通じ、毎年閲覧請求がされる。

住民基本台帳法11条に基づき、閲覧のみ許可している。

〔以上3件質問〕

総合計画

課題と今後は

総花的であった。運用できる計画を目指す 町長



好村 拓洋

**問** 第6次総合計画の概要が全員協議会で示された。8年前作成した第5次総合計画の町の将来像と、今の姿はどうか。また、課題はなにか。

**町長** 第5次総合計画を指針に様々な取り組みを行っている。

目標指数の達成状況は83.3%だ。

課題は内容が総花的であり、運用面での機能が弱いと感じている。

6次総では地域課題の解決に向け、運用できる総合計画を目指す。

**問** 5次総の中で目標指数の数値があるが、不明確でわかりづらい。例えば地元滞留率だ。特定の世帯を対象にしたアンケートで、実態が示されているとは思えない。

6次総で改善されるのか。

**町長** 地元滞留率は、詳しく動向調査をするべきと考える。

6次総策定の段階で、しっかりと正確なものを取りたい。

**問** 5次総の検証期間と6次総のアンケート期間が重なっている。町民にもしっかりと検証してもらう必要があるが。

**町長** 6次総策定に向けて、現在の評価をもらうとともに、将来のまちづくりに必要なことを聴くアンケート調査を計画している。

**企画政策課長** 行政が行ってきた様々な施策に対して、生活の実感として満足してもらえたかが中心のアンケートだ。

率直な評価をもらいたい。

**問** 重要なのは、町の現況を客観視して、近隣自治体・全国と比べてどうかという検証をすべきだ。目標数値を含めた、検証できるアンケートか。

**企画政策課長** 町民には検証しやすい内容になっている。

その声を行政としても真摯に受け止める。

**問** 6次総の概要説明の中で「転換期」を迎える行政施策であった。人口増・経済成長時代が終わり、今後100年かけて人口が半減する。もっと町民へ周知徹底するべきでは。

**企画政策課長** 今までの計画はあれもこれも・希望を並べていったものだった。これからは本

当の豊かさを考える中で、取捨選択することもある。アンケート・行政側の検証・住民懇談会などで地域ごとの推計も出ればよい。

**問** 2021年4月から実施予定の6次総は、まさに時代の転換期を迎えるにあたって、非常に重要になる。

人口も急激に減少していく中で、しっかりと将来の町の姿を描く必要がある。

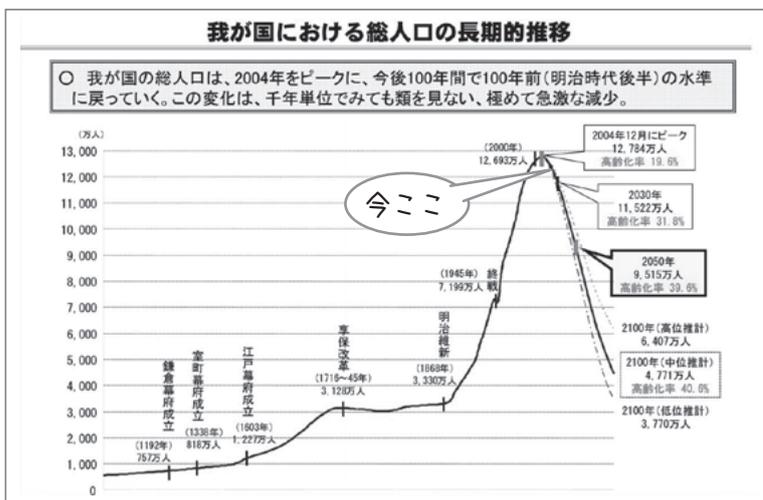
期限ありきではなく、ベターな計画よりベストな計画を作らなければならない。

**町長** 皆の知恵を出し合いながらベストな計画を立てたい。

10年後は予測しづらい部分もあるが、3・5・10年に分けても面白いと思う。

これから真剣になりつつ、皆でわいわい考えていきたい。

[以上1件質問]



転換期を迎える人口推計 (出典：国土審議会政策部会長長期展望委員会)

# 町民の声を 議会へ

このページは町民の皆様取材協力をお願いして、町政や議会への意見や感想を掲載しています。

今回は、キッズファーム(農育)代表片桐ゆうき裕幾さんに登場していただきます。

## 2050年の飯島町

『2050年の飯島町はなくなります』皆さんは、こう言われたらどう思いますか。

『ほんとにそんなことあるのかね』『そんな危機感全くないね』『町がなくなっても何も変わらないでしょ』『町がなくなるのは寂しいな』など、様々な意見があるでしょう。

2014年に発表された『消滅可能性都市』で上伊那唯一、飯島町が該当しました。これによると2045年の人口予想は約6000人と発表され、今より3500人も減少していく、未だ経験した事のない時代がきます。仕事をする人も減ります。

皆さんは、町の田園風景は好きですか。我々は大好きです。この時期の田んぼに映る山々は素敵ですよ。

この風景を守っている農家もかなりのスピードで減っています。今、町で農業に関わる方は約600人で、**その内45歳以下は40人以下**です。

2050年、町の農業はどうなるでしょう。高齢化が進み、農家は減少。耕作放棄地が目立ち、草ぼうぼうの畑だらけ。田園風景が失われます。

こうならない為に**必要なのが、後継者の確保**です。

我々の仲間には、二代目農家も多く、小さい頃に家で農業を手伝いその魅力を知った者もおります。そこで、小学生に農業体験を通じて、楽しさ・辛さ・大切さを体験してもらおう。多くの児童に興味を抱いてもらい、将来の農家

候補生を育てようと『いいじまキッズファーム(農育)』を計画しました。

農育は、私たちが作った造語です。

**農育(食育・花育等を含む)**  
=①農業教育 ②農家育成

この取り組みは2年間行い、今年も15名を超える参加者が集まりました。2年連続で参加の児童もいました。

30年・50年後、子どもたちが大人になったときも素敵な田園風景が広がっていることを期待します。

### 町と議会に望むこと

町も農業も、問題点は30年前と何も変わっていません。

時代は昭和でも平成でもなく『令和』です。誰も経験したことのない時代に突入しました。

教科書はどこにもありません。失敗を恐れず思いっきり攻めてください。

明るい未来のために。



議会だより

クイズ

10月から始まる  
〇〇〇〇〇付商品券

ヒントは  
8ページに

**正解者5名様にいいちゃん商品券進呈**  
(締切は8/31、発表は発送をもってかえさせていただきます)



**応募要項**  
住所・氏名・年齢・解答とご意見などをご記入のうえ  
ハガキ・FAX・いいちゃんポストで、飯島町  
議会事務局 議会だよりクイズ係宛まで

### 編集後記

新委員での初編集です。より良い議会報にしようと意見が飛び交っています。会議の傍聴をしませんか。ご参加お待ちしております。

発行責任者 議長 堀内克美  
編集委員 ◎滝本 ○好村  
三浦・久保島・坂本・本多